



ノーベル平和賞受賞



「平和について考えるつどい 岐阜」

【日時】 2025年1月12日(日)～13日(月・祝) 10:00～15:00

【会場】 円徳寺会館（岐阜市神田町6-24）※駐車場あります

【参加費】 無料

12月10日、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が、2024年ノーベル平和賞を受賞しました。受賞理由である「核兵器のない世界を実現するための努力と、被爆者の証言を通じて核兵器が二度と使用されてはならないことを示したこと」が表わすように、広島・長崎の被爆者が、68年にわたり活動されてきた努力が結実したものです。

日本被団協の岐阜県組織である「岐阜県原爆被爆者の会(岐朋会)」へのお祝いとあわせ、核兵器廃絶運動の歴史と到達点、そしてこれからの課題を考えるつどいを開催します。ぜひご来場ください。



◆特別企画

「2010年国連原爆パネル展」

◆ノーベル平和賞授賞式参加報告

◆1月12日(日)11時～ ◆1月13日(月)11時～



<木戸季市さん>

◆パネル・資料展

「被団協、岐朋会の歩み」「核兵器の今」「核兵器禁止条約とは」他

◆被爆者の証言

被爆者による証言&ビデオ上映

その他 書籍、グッズ等 販売あり



<提供：日本原水爆被害者団体協議会>

主催：被爆者の願いを継承する岐阜県民の会

※お問合せ 電話058-370-6867 全岐阜県生協連(月～金 9時～17時)